９月定例会で審議した議案、請願の結果

	議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			清流11人	共産3人	公明2人	絆2人	無会派 清野	無会派 竹内	無会派 金崎
条例	市営住宅条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	学校設置条例及び夜間照明施設条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	水道事業給水条例の一部改正	原案可決	○	×	○	○	×	○	×
	保育の実施に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	×	○	○	○	○	○
	保育の必要性の認定に関する基準等を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	一般会計補正予算（第５回）	原案可決	○	×	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	下水道事業特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	農業集落排水事業特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	公設地方卸売市場特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	駐車場事業特別会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	市立病院事業会計補正予算（第１回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	市道の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

	議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			清流11人	共産3人	公明2人	絆2人	無会派 清野	無会派 竹内	無会派 金崎
平成25年度決算	一般会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	国民健康保険特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	後期高齢者医療特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	介護保険特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	下水道事業特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	農業集落排水事業特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	公設地方卸売市場特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	駐車場事業特別会計決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	水道事業決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
	市立病院事業決算の認定	継続審査	－	－	－	－	－	－	－
議員提出議案	産後ケア体制の支援強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	「危険ドラッグ（脱法ハーブ）」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	議会基本条例制定特別委員会設置に関する決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
請願	水道料金値上げに関する条例の撤回を求める請願	不採択	×	○	×	×	○	×	○
	国民が安心して暮らせるエネルギー政策を求める意見書に関する請願 【この請願を「趣旨採択」とすることについて採決しました。「趣旨採択」については、９ページを参照してください。】	趣旨採択	○	×	○	○	×	○	×
	集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定の撤回と戦争参加を進める立法措置を講じないよう求める請願	不採択	×	○	×	×	○	×	○

清流：清流クラブ（11 人）　共産：日本共産党秩父市議会議員団（３人）
公明：公明党（２人）　絆：市民の会・絆（２人）　無会派：会派に属さない議員
※ 議長は人数に含まれていない。

○：賛成　×：反対　○/○：賛成人数／会派人数

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。
各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 落合　芳樹（清流クラブ）
1 土砂災害防止
2 人口減少問題
3 空き家対策
4 教育行政

② 荒船　　功（清流クラブ）
1 市庁舎・市民会館の建設計画
2 市立保育所の再編計画
3 福祉の充実（高齢者健康対策）
4 市道原谷 69 号線の改修

③ 江田　治雄（市民の会・絆）
1 民泊事業を推進し、地域活性化を図ろう
2 いじめ撲滅に向けた条例制定を
3 有害鳥獣対策実施隊設置の進捗状況は

④ 木村　隆彦（清流クラブ）
1 振り込め詐欺の現状および対策
2 選挙の投票率
3 野良猫対策
4 定住自立圏構想における障がい者支援

⑤ 竹内　勝利
1 秩父 BMX サイクルの現在と今後
2 市役所本庁舎および市民会館の今後
3 火葬場建設の今後
4 秩父市太陽光発電（メガソーラー）

⑥ 福井　貴代（公明党）
1 産科医療体制の取り組み
2 大人版・救急電話相談の導入
3 小中学校にエアコンの設置
4 市庁舎・市民会館入札不落その後の状況

⑦ 清野　和彦
1 生物多様性地域戦略の策定
2 秩父市の再生可能エネルギー政策
3 水道事業の詳細、原水保全、漏水対策等

⑧ 出浦　章恵（日本共産党秩父市議会議員団）
1 さまざまな障がいを知り共に生きること
2 キッズパークのトイレ改修
3 土砂たい積

⑨ 金崎　昌之
1 市民満足度調査の活用を
2 ユニバーサルデザイン条例制定を
3 医療・介護で高齢者の移住受入を

⑩ 山中　　進（日本共産党秩父市議会議員団）
1 子育て支援
2 第６期介護保険制度
3 防災
4 水道料金値上げ

⑪ 斎藤　捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）
1 金婚表彰を通知制に出来ないか
2 対策が望まれる迷惑電話
3 安心して徘徊できる街づくりという発想

⑫ 大久保　進（公明党）
1 防災対策
2 ヘルプカードの導入
3 空き家対策
4 ゆるキャラの応募

⑬ 松澤　一雄（清流クラブ）
1 秩父ならではの観光政策
2 無電柱化政策
3 農業振興と太陽光パネルの設置

⑭ 髙野　　宏（清流クラブ）
1 ゴミ問題、町会の立場、役割は
2 ごみステーション
3 ペットの糞害
4 害虫防除対策　他

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

一般質問

土砂災害防止

清流クラブ　落合（おちあい）　芳樹（よしじゅ）

問　土砂災害警戒区域や特別警戒区域を指定する手順は。

答　初めに基礎調査の事前説明会の開催、次に専門業者の調査員による基礎調査の実施、基礎調査の結果説明会の開催、県から市への区域指定についての意見照会および回答、県による告示で区域の指定となる。

問　指定されたらどうなるのか。

答　土砂災害警戒区域に指定されると、土砂災害から生命および身体を守るため、市で警戒避難体制の整備を図る。次に土砂災害特別警戒区域に指定されると、さらに、住宅地分譲等の特別の開発行為は許可制となり、災害により想定される衝撃に対して建物の構造が安全であることを求める建築物の構造規制、また、移転等の勧告があり、勧告による移転者への融資等の対象となることがある。

問　秩父市内の土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の数と指定率はどのくらいか。

答　9月1日現在、危険箇所は、839か所。警戒区域は531か所、このうち特別警戒区域219か所。指定率は63・3％である。

問　市長が発表する避難情報とは。

答　避難準備情報、避難勧告、避難指示の3段階がある。

問　市が指定する緊急避難場所は。

答　秩父市では緊急避難場所の指定はしていないが、来年度の防災計画の見直しに合わせて指定を行なう予定である。なお、一時集合場所は、避難遅れの人がいないか確認するために、地域ごとに定めたものである。

◎人口減少問題
◎空き家対策
◎教育行政

広島土砂災害
断続的な雨 捜索続く
死者50人 土砂 大島の3倍
礼文島 土砂崩れ2人死亡
防災相 法改正を検討

広島土砂災害等についての新聞の報道

家庭児童相談事業について

清流クラブ　荒船（あらふね）　功（いさお）

問　全国の児童相談所が昨年度対応した児童虐待の件数が7万3765件で、過去最多を更新した記事が掲載されていた。

秩父市の家庭児童相談事業について、成果報告を見ると、22年度919件、23年度1077件、24年度1118件、25年度1374件と増加傾向にある。

この成果報告書の数字から、秩父市の児童相談について、どのような傾向が想定されるか。

答　この事業は、児童福祉法により規定されていて、虐待の未然防止・早期発見等を中心に積極的な対応が求められており、秩父市は福祉事業所内に相談室を設置して対応している。

指摘のとおり相談件数も増加傾向にあり、相談の種別は学校生活での人間関係・登校拒否・非行。家族関係では、身体的・性的・心理的虐待及び経済的環境など多岐に渡っている。

秩父市で増加している相談種別は、虐待の要因を含む相談が多く23年度245件、24年度321件、25年度392件で、児童虐待による死亡事件等が相次ぎ報道されていることも増加の一因と考える。

今後の対応として、虐待が深刻化する前の早期対応が必要で、保育所、学校、民生児童委員等の関係機関との連携を強化していく。現在、家庭児童相談室には、2人の相談員を配置して、児童の安全、命を守るために高い危機管理意識を持ち、組織全体で積極的に取り組みを進めていく。

秩父市の家庭児童相談室

一般質問

民泊事業で地域活性化を

市民の会・絆　江田（えだ）　治雄（はるお）

問　おもてなし観光公社が窓口で進めている民泊事業の内容と、今後の進め方について

答　今年7月に東京江戸川区の中学生193人が、2泊3日の日程で秩父地域の民家72軒に分かれて泊まり、農作業やその家の手伝い、食事の準備を一緒に行い、秩父地域の生活体験をしてもらった。この民泊事業は秩父地域生活そのものが観光資源となる事業であり、ボランティアではなく宿泊料・体験料をいただくことから、交流人口の増加、将来の地域活性化に寄与する事業である。

訪れた生徒たちは秩父地域を「第二のふるさと」と思ってくれるようになり、将来リピーターになることも期待している。今後も既に10月に京都の高校生2百人が来秩する。さらに来年度三校の受け入れが決まっており、今後も協力家庭を確保し地域活性化に繋がるよう進めていきたい。

●子どもいじめ防止条例を

問　いじめの現状はどのように把握しているか、防止条例策定の考えはあるか。

答　25年度秩父市のいじめ認知件数は、小・中で55件あった。いじめの内容は、「悪口や脅し文句」「遊ぶ振りをして叩かれたり、蹴られたりする」「集団で無視や仲間はずれ」等である。

今後も学校現場におけるいじめ防止の取り組みを一層強化していく。「いじめ防止条例」制定に向け準備している。市民の皆様と共に子供を見守り育んで行きたい。

体験学習で手打ちうどんを作りました

◎有害鳥獣対策のについて

野良猫対策

清流クラブ　木村（きむら）　隆彦（たかひこ）

問　野良猫の現状について

答　市の野良猫の現状を把握する目安として苦情件数がある。平成25年度で15件、今年度は既に10件寄せられている。内容については、フン尿被害によるのもがほとんどである。また、やむをえない理由で埼玉県動物指導センターが収容し、殺処分された猫の数は、平成23年度2740匹、24年度2309匹、25年度1645匹である。市に寄せられる苦情相談の中にも、猫を捕獲して処分してほしいという内容もある。しかし、市では愛護動物の猫を捕獲して処分することはできない。そのため、今年度、野良猫対策補助金を創設した。

問　補助金の利用状況は

答　現在15件の申請があり、7件の不妊・去勢手術が実施された。

問　野良猫対策について

答　野良猫を増やさない手段として地域猫活動がある。地域猫活動とは、地域の皆様とボランティアグループなどが協力し、地域に棲む飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を実施して繁殖を抑制し、その猫が一代限りの寿命を全うするまでの間、エサやりのルール化、トイレの設置やフンの回収など、適切な管理を行う活動のことである。野良猫の苦情や相談が多い地域を中心に、すでにボランティアの方々が地域猫活動を行っており、地道に野良猫による被害減少に向けた取り組みを始めている。

問　県の地域猫活動の補助金を利用できないか

答　町会のご理解とご協力体制が整えば県の補助金を申請したいと考えている。

シェルターに保護された猫

一般質問

秩父BMXサイクルの現在と今後

竹内（たけうち）　勝利（かつとし）

問　ナイター施設の必要性、タイム計測システムの設置、インターネット環境の充実は。

答　平成22年オープン以来、知名度が低かったが、市内の小学生が世界大会に日本代表選手として出場するなど市民の理解が得られ利用拡大が進み、秩父市長杯を始め、ジャパンカップや自主開催での定期戦など年間で7戦を開催し利用拡大に努めている。夏場の涼しくなる夜間にオープンすることにより利用拡大に繋がると思う。スタッフの勤務時間や施設の効率的な設置方法などの研究をしていく。

国内のBMXでタイム計測機器の設置をしている事例は無いことから、他のコースに先駆けて設置することで、誘客促進に繋がると大きな期待が出来る。

レイクビューハウスは、ADSLでの接続は整っている。WiFiの利用は困難。スマートフォンは接続可能。ネット回線の充実に向けNTTへの要望活動をする。

●市役所本庁舎及び市民会館

問　今後の予定について

答　5月の入札で不落となり現在の建設予算に七億から八億円の増額をし、早期に新庁舎建設を行いたい。

●火葬場建設

問　今後について

答　実施計画が完了し、入札告示を10月に行い11月下旬に入札を実施し、仮契約を行った後、12月下旬に広域組合議会に上程する議会で可決されれば、平成28年10月には、新火葬場での業務を始める予定。

秩父滝沢サイクルパーク BMX コース

◎秩父市太陽光発電
◎小中学校にエアコンの設置
◎市庁舎・市民会館入札不落、その後の状況と取り組み

安心の産科医療体制整備

公明党　福井（ふくい）　貴代（たかよ）

問　産科医療体制整備に向けた、関係者の努力により、現在は落ち着いている状況と思うが、今後は里帰り出産も全て受け入れられるよう更なる整備が必要と考える。常勤医師の常駐化や産婦人科医療施設整備助成金支給制度の導入により、産科医療体制の充実をはかると共に、不足する婦人科の整備で産科を支えることも必要と思う。婦人科の現況と見解を伺う。

答　埼玉医科大学の関連病院も産科が不足しており、常駐派遣は難しい。また新たに開業する産科医療機関を受け入れた場合、経営面で難しいと推測している。秩父地域の産科医療は、市内産科医療機関と埼玉医科大学関連2病院、市立病院の連携維持の継続を最優先にし、新たな支援策に取り組む。婦人科についても、医師の高齢化等により減少している状況だが、郡市医師会や秩父産婦人科医師会、市立病院と連携して婦人科の維持を進めていく。

●大人版・救急電話相談の導入

問　大人版・救急電話相談サービスの事業内容と導入の取り組みは。

答　名称は「大人の救急電話相談（#7000）」目的は、急病への不安を解消し、軽症患者の救急病院等への集中による救急担当医の負担を軽減し、適正受診を促進する。10月1日より事業開始予定。相談時間は、毎日18時30から22時30分。電話番号は#7000。

「おなかに赤ちゃんがいることを伝える」マタニティーマーク